

保存用


- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- ・器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ・ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- ・工事店様・電器店様へ・・・工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警告

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行ってください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行ってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- 防水形(屋外)器具として使用する場合は、必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。
- アース端子(緑)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。

⚠ 注意

- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中および消灯直後は器具やランプが高温になりますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違えて器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定器等の短寿命および火災・過熱の原因になります。
- この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があるか確認してください。
→間違えて使用しますとランプや安定器等の短寿命および火災・過熱・故障の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- スイッチの取付工事は電源側を切るように結線してください。
→逆にしますと感電・事故の原因になります。
- 自動点滅器は光の影響を受けにくい方向に取付けてください。
→光の影響により誤動作する場合があります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。
CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文は必ず守ってください。
 KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



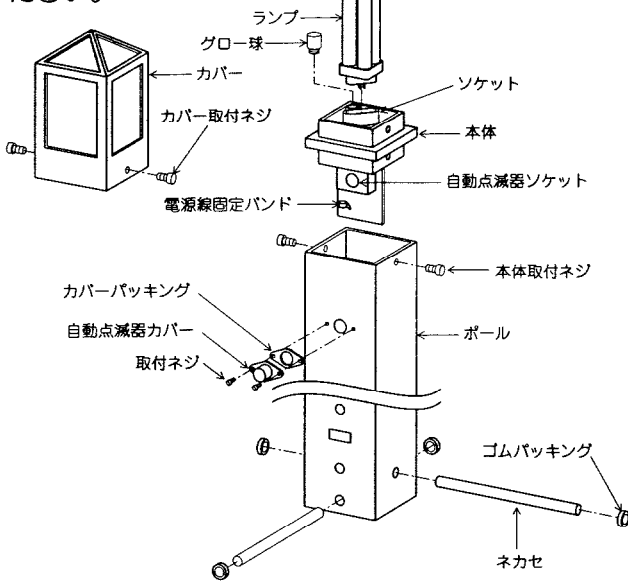
このマークのついている説明文は特に注意してください。
 BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましたことありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



品番 AUG364001・TNTCP168LE/W

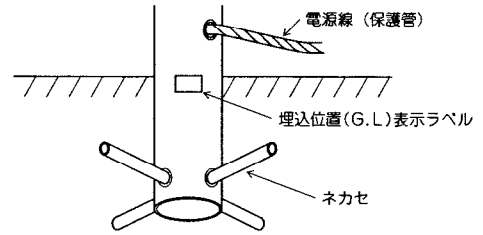
■取付けの際に特に守ってください

△電気工事

○素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

△ポールの取付け

○ポール下部の挿入穴にネカセを挿入してください。ポールは埋込表示ラベルがかかるまで埋め込んでください。
ポールは土壌のしっかりした所へ設置してください。砂地等の土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でポールの埋込部を固定してください。
配線工事は必ず第3種接地工事を施してください。

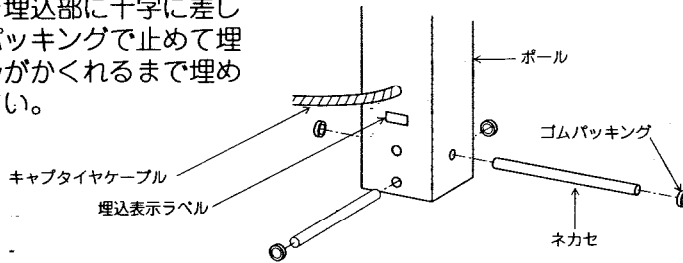


■取付順序と操作方法

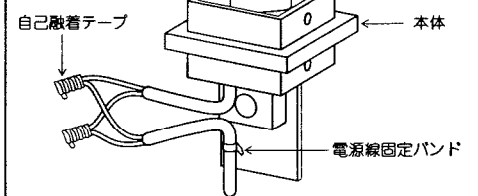
○ぬれた手では絶対に行わないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると、落下・けが・過熱の原因になります。

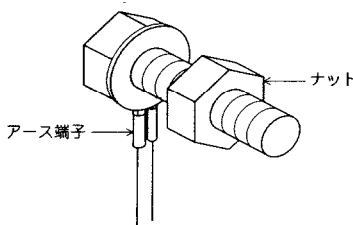
① 電源線(キャプタイヤケーブル)を電源穴からポールに通してください。ネカセを埋込部に十字に差し込み、ゴムパッキングで止めて埋込表示ラベルがかかるまで埋込んでください。



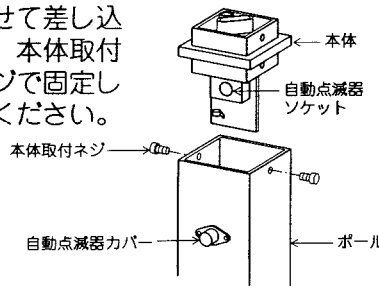
② 本体に電源線固定バンドで電源線を固定し、電源線と器具側電線を接続して自己融着テープで確実に絶縁保護してください。



③ アース工事を行なってください。

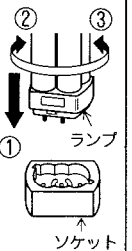


④ 本体の自動点滅器ソケットとポールの自動点滅器カバーの方向を合わせて差し込み、本体取付ネジで固定してください。



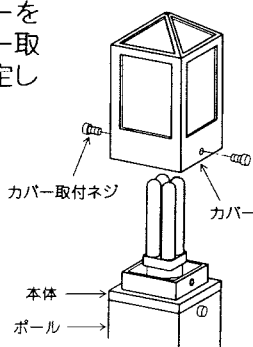
⑤ ランプの取付け

●取付方法 ①押しながら ②右へまわせば固定できます。
●取外方法 ①押しながら ③左へまわせばはずれます。
※ガラス部分を強くねじらないでください。



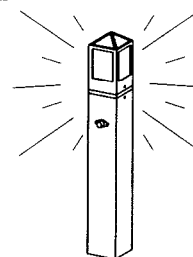
△ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損・落下の原因になります。

⑥ 本体にカバーをかぶせカバー取付ネジで固定してください。



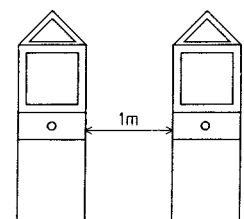
⑦ 電源を入れて、点灯を確かめてください。

ON

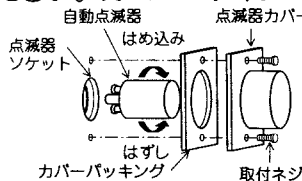


△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。

⑧ 自動点滅器を取付けられる場合、器具と器具との間隔を1m以上取ってください。


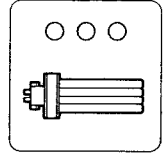


取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

<p>ビスをはずして、点滅器カバーをはずしてください。自動点滅器(別売)を穴に差し込み右にひねって固定してください。自動点滅器には差し込み方向がありますのでご注意ください。カバーパッキング、点滅器カバーは必ず取付けてください。</p>		
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	--

■器具のお手入れ

- ⓪ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。
- △必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。
- △点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。
- △安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

 <p>やけどのおそれあり</p>	<p>(1) ランプの交換方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② カバーを■取付順序の⑥を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の⑤を参考にランプを交換してください。(指定ランプは器具銘板をご確認ください。) ④ ■取付順序の⑥を参考にカバーを取付けてください。 	<p>ランプシール参考例</p> 
<p>点灯中や消灯直後のランプにさわらない</p>	<p>(2) カバーのお掃除</p> <ol style="list-style-type: none"> ① カバーを■取付順序の⑥を参考に取外してください。 ② 乾いた柔らかい布等でカバーの汚れを拭き取ってください。 ■取付順序の⑥を参考にカバーを取付けてください。 	

商品のお問い合わせ、修理・アフターサービスのご相談は、器具本体に貼り付けています器具銘板で品番をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、工事店もしくはもよりの営業所、サービスセンターにご連絡ください。

◆商品のお問い合わせは………

- 北海道地区 札幌営業所 ☎011(813)4363
- 東北地区 仙台営業所 ☎022(236)7081
- 関東地区 東京支社 ☎03(5687)0081
- 中部地区 名古屋営業所 ☎052(932)4521
- 北陸地区 金沢営業所 ☎0762(49)3235
- 近畿地区 東大阪営業所 ☎0729(88)1198
- 中国地区 広島営業所 ☎082(249)7052
- 四国地区 高松営業所 ☎0878(66)1112
- 九州地区 福岡営業所 ☎092(522)2311

◆修理・アフターサービスのお問い合わせは………

- 北海道サービスセンター ☎011(813)4297 〒003 札幌市白石区中央1条2丁目1-34
- 東北サービスセンター ☎022(236)4272 〒983 仙台市若林区卸町東1丁目1-60
- 関東サービスセンター ☎0489(28)4381 〒340 草加市谷塚上町字島田756
- 神奈川サービスセンター ☎0463(95)8008 〒259-11 伊勢原市高森6-1[日本ロジテム(株)内]
- 中部サービスセンター ☎0568(75)5931 〒485 小牧市三ッ淵950[株)メイコン内]
- 北陸サービスセンター ☎0762(49)3205 〒921 金沢市保古町二146
- 関西サービスセンター ☎0729(85)5521 〒579 東大阪市宝町12-5
- 岡山サービスセンター ☎086(298)3496 〒701-02 岡山市曾根657-1
- 広島サービスセンター ☎082(249)1018 〒730 広島市中区光南4丁目12-7
- 九州サービスセンター ☎092(622)4010 〒813 福岡市東区多の津4丁目3-22

小泉産業株式会社

照明事業部 TEL 06(262)0861

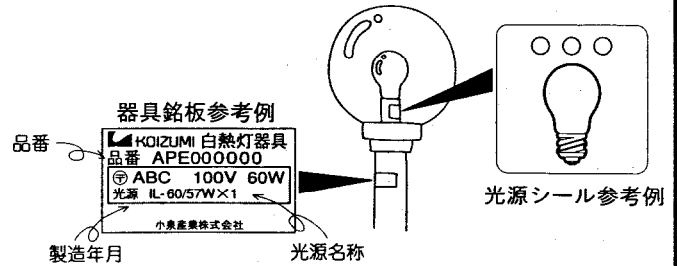
お客様相談室フリーダイヤル ☎0120-5123-02

平成9年現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

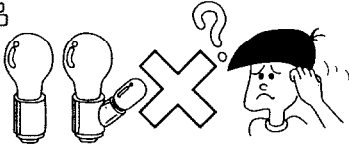
△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。
 ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) 16

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。光源(ランプ・電球)の種類は器具の光源シールをご確認ください。交換用の光源は器具の指定のものを必ずご使用ください。



○ 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。



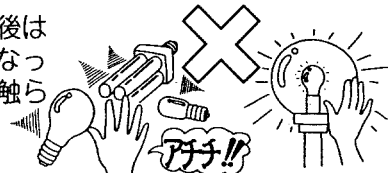
感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○ 器具や光源を布や紙等でおおわないでください。
 火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○ 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。

感電・故障の原因になります。

○ 点灯中および消灯直後は器具や光源が高温になっていますので素手で触らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

○ 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

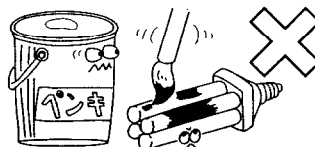
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○ シンナーやベンジン等の揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。



変質・故障の原因になります。

○ 器具や光源に着色等をしないでください。



焼損・過熱・故障の原因になります。

○ 器具をまるごと水洗いしないでください。
 感電・焼損・故障の原因になります。

△ お手入れや光源交換の時は必ず電源を切ってから行ってください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

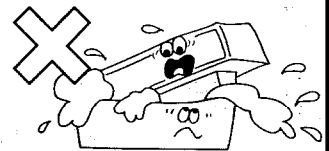
△ 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
 工事店・電器店にご相談ください。

△ 光源交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の光源をご使用ください。

間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

△ 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。



感電・焼損・故障の原因になります。

△ 点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や光源に損傷等がないかを確認してください。

異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△ 光源の端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めに光源交換を行なってください。

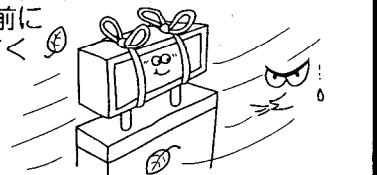
照度のことを考慮しますと、経済的であるといえます。

△ ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△ 台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

△ 光源が点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切り光源を交換してください。

放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。